

畜産協会たより ～ 令和8年度 第1号 ～

★ワクチンを接種しましょう

～家畜生産農場衛生対策事業・特定指定疾病損耗防止推進事業～

・地域の自衛防疫団体において、下記のワクチン接種を行っています。

< ワクチンの種類 >

牛:牛伝染性鼻気管炎(5混)

牛異常産(4混)

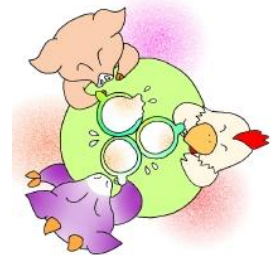
イバラキ病

豚:豚丹毒(生)(不活化)

鶏:ニューカッスル病(生:B1株、その他株、日本全薬)

ニューカッスル病及び伝染性気管支炎混合(生:アビテクト、その他株)

ニューカッスル病(5混)(6混)(7混)



予防注射 事業	牛			豚	鶏
	牛伝染性 鼻気管炎	牛異常産	イバラキ病	豚丹毒	ND、 ND・IB 他
7年度実績	26,002 頭	12,877 頭	7,256 頭	2,359 頭	8,820 千羽
8年度計画	25,910 頭	13,600 頭	6,760 頭	3,000 頭	10,072 千羽

・ワクチンは、**衛生的な環境**で飼養管理されている**健康な家畜**に接種されなければ、十分な効果を期待することはできません。そのため、ワクチン接種の予定日が近づいたら、**対象家畜の飼養衛生管理**には特に注意を払ってください。

・また、**ワクチン接種後は、過度な運動やストレスを避け、健康状態をよく観察してください。**



☆8年度の鶏ワクチン一覧 (一部変更があります)

ND (ニューカッスル病)	生	B1株 日本全薬
	生	ポールバックコンビ アビテクト NB 混合 その他
ND・IB (ニューカッスル病・鶏伝染性気管支炎)	不活化	油性 微研
		MSD KMB
ND5 混		
ND7 混		

大切な家畜を守るため、疾病の発生予防に心がけましょう

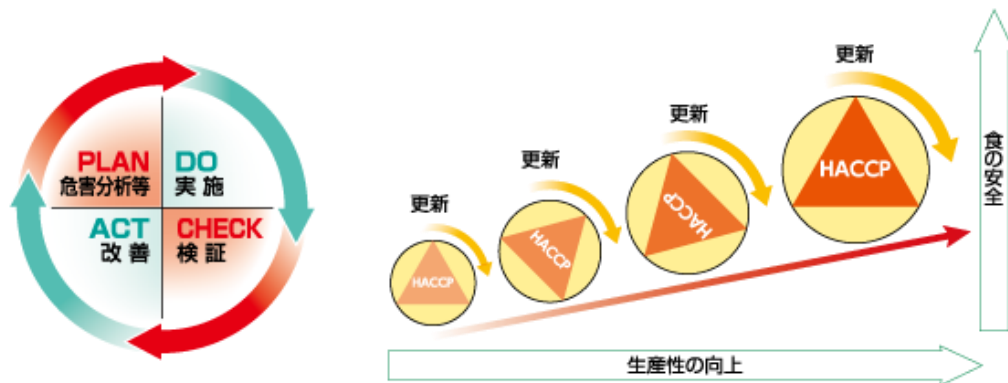
農場 HACCP 認証への取組みについて

～畜産物の安全・安心を確保するために～

◆HACCP とは

Hazard(ハザード) Analysis(アナリシス) Critical(クリティカル) Control(コントロール) Point(ポイント)の頭文字をとったもので、危害要因分析(HA)必須管理点(CCP)といわれるものです。

これに取り組むことで、食品として安全・安心な家畜・畜産物をフードチェーンに供給することや飼養衛生管理基準をはじめとする法令順守、家畜伝染病の発生防止等を図ることができます。



【農場 HACCP 衛生管理システムの継続的改善(PDCA サイクル)】

◆農場 HACCP 認証取得のメリット

認証取得農場では「衛生レベルの向上に伴う**生産性向上**」などの直接的な効果に加えて、「従業員の**衛生意識・行動の変化**」、「取引先等への情報開示による**信頼性の向上**」などのメリットが得られることが明らかになってきました。最近では農場 HACCP に取り組む農場の多くが、これらのメリットを意識して参入するようになってきています。



◆プライム認証基準について

農場 HACCP の更なる普及拡大に向けて、追加的に、**持続可能性(労働安全、環境管理、アニマルウェルフェア及び人権尊重)**に配慮した農場 HACCP プライム認証基準が公表され、令和 9 年 4 月から認証業務が開始されます。

農場 HACCP に興味をお持ちでしたら、気軽にお問い合わせ下さい。

一般社団法人 長崎県畜産協会

〒850-0047 長崎市銭座町 3 番 3 号

TEL 095-843-8825

FAX 095-841-8810

E-mail: cdy93930@par.odn.ne.jp

～地方競馬の収益は、畜産振興に役立てられています～

